

第十三回 建築ツアーワーク

@ 上野

コットン

①旧岩崎邸庭園

所在地: 台東区池之端1丁目 3-45

建築年: 1896年

設計: ジョサイア・コンドル

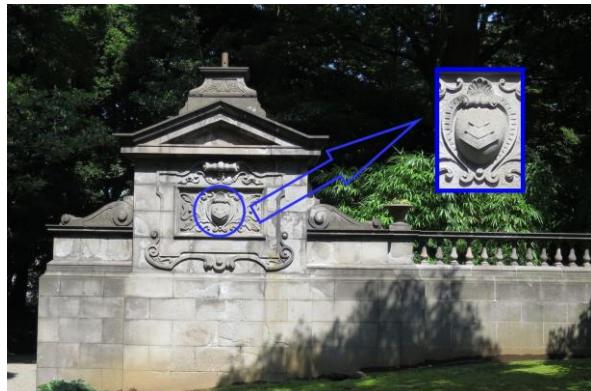
建物は洋館、ビリヤード場、和館からなる。

洋館は末端が蔓を巻くジャコビアン様式

ビリヤード場はゴシック山小屋風

和館は当時は洋館より広い面積だった。

庭園は近代庭園の初期の形と言われている。



袖屏に囲まれた三菱・岩崎家の家紋(重ね三階菱)

がメダリオンの中にあるのですが、どう見ても

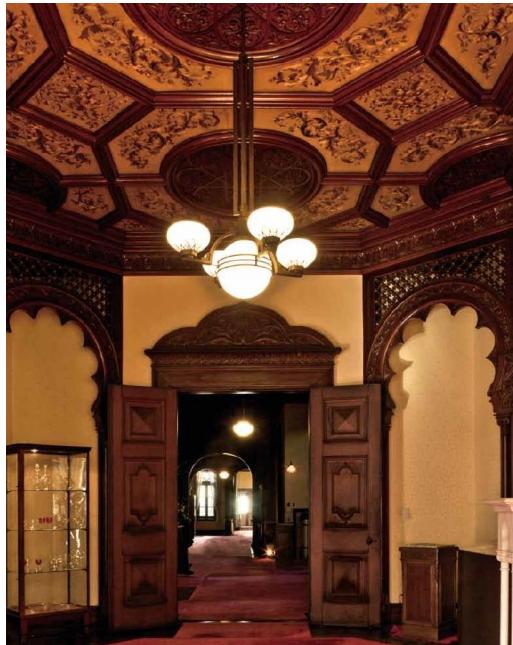
『カッパ』に見えるので我が家では河童で通って

います。



特徴的な三連窓が素敵です





1階夫人客室はイスラム風の多弁アーチが部屋の隅に設けられており、部屋に異国的な奥行きを与えていた。

②東京文化会館

所在地: 台東区上野公園 5-45

建築年: 1961 年

設計 : 前川國男

国立西洋美術館の向かいに建ち、師匠コルビュジエの建築に敬意を払い軒の高さを美術館にそろえたり、外壁を美術館にならってコンクリート・パネルで構成。



出典 : wikipedia

③国立西洋美術館

所在地：台東区上野公園 7-7

建築年：1959 年

設計：ル・コルビュジエ



フランス政府から寄贈返還された印象派の絵画及びロダンの彫刻を中心とする
フランス美術コレクション「松方コレクション」を基にル・コルビュジエがパリで基本設計を行い、弟子の坂倉準三が意匠を、前川國男が構造と設備を、吉阪隆正がパリとの連絡役・図面作成補助を担当。

「本館と前庭」はル・コルビュジエのプロトタイプ化した「無限成長美術館」の考えを反映している。
20 年後には前川國男が新館を設計。

«ファサード»

第一次世界大戦時松方は経営する川崎造船所でストックボートによって莫大な利益を得て西洋絵画他を買い求めたが世界恐慌によって美術品コレクションが売られた。

松方コレクションの約 400 点の作品は当時のフランス現代美術館の館長レオンス・ベネディットに預けられ彼が館長を兼任していた「ロダン美術館」の一角に保管されていた



新館

ル・コルビュジエの建築を理解するキーワード

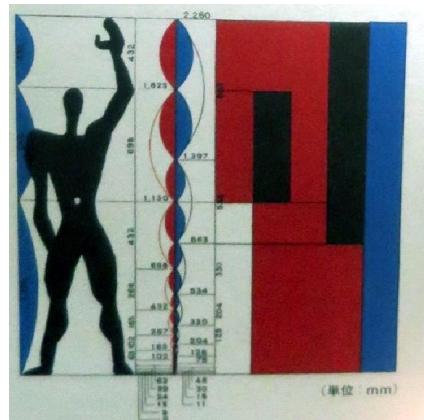
ル・コルビュジエの近代建築の5原則

1. 建物を柱で支えることで地上階に吹き抜けの空間を作る「ピロティ」
2. 瓦屋根ではなく、水平な屋上により可能となる「屋上庭園」
3. 空間を仕切る壁によって多様な部屋をつくる「自由な空間」
4. 幅広く窓を開けて採光し、部屋を明るくする「横長の大きな窓（水平連続窓）」
5. 様式にこだわらず自由なデザインが可能な「自由なファサード（正面）」

モジュロール (Modulor)

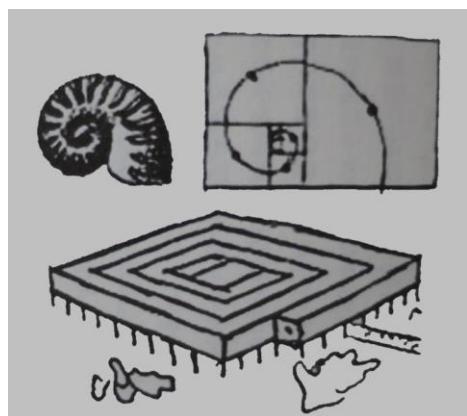
モジュロールとは「Module (寸法)」に「Section d'or (黄金比)」を合わせたル・コルビュジエの造語で建築の寸法を決める際に人体のサイズを基準とするルール。例えば住宅の天井高さは身長 183 センチという人体(西洋人男性)を基準に、その手を伸ばした高さ(226 センチ)に設定された。

これを基本に黄金比に基づく寸法体系を建築に応用した。



無限成長美術館

収蔵品の増加に合わせて増築できるように設計された美術館という発想だけでなく美術館を建設するための寄付を募って美術館を拡大していくという考え方。



世界遺産に登録された17の建物

ラ・ロッシュ・ジャンヌ邸 Maisons La Roche et Jeanneret	フランス イル＝ド＝フランス地域圏パリ
レマン湖畔の小さな家 Petite villa au bord du lac Léman	スイス ジュネーヴ州ジュネーヴ
ペサックの集合住宅 Cité Frugès	フランス ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏ペサック
ギエット邸 Maison Guiette	ベルギー フランデレン地域アントウェルペン
ヴァイセンホフ・ジードルングの住宅 Maisons de la Weissenhof-Siedlung	ドイツ バーデン＝ヴュルテンベルク州シュトゥットガルト
サヴォア邸と庭師小屋 Villa Savoye et loge du jardinier	フランス イル＝ド＝フランス地域圏ボワジー
イムーブル・クラルテ Immeuble Clarté	スイス ヴォー州
ポルト・モリトーの集合住宅 Immeuble locatif à la Porte Molitor	フランス イル＝ド＝フランス地域圏ブローニュ＝ビヤンクール
マルセイユのユニテ・ダビタシオン Unité d'habitation Marseille	フランス プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域圏マルセイユ
サン・ディエの工場 La Manufacture à Saint-Dié	フランス グラン・テスト地域圏サン＝ディエ＝デ＝ヴォージュ
クルチュット邸 Maison du docteur Curutchet	アルゼンチン ブエノスアイレス州ラ・プラタ
ロンシャンの礼拝堂 Chapelle Notre-Dame-du-Haut de Ronchamp	フランス ブルゴーニュ＝フランシュ＝コンテ地域圏ロンシャン
カップ・マルタンの休暇小屋 Cabanon de Le Corbusier	フランス プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域圏 ロクブリュヌ＝カップ＝マルタン
チャンディガールのキャピトル・コンプレックス Complexe du Capitole	インド パンジャブ州チャンディガール
ラ・トゥーレットの修道院 Couvent Sainte-Marie-de-la-Tourette	フランス オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏
国立西洋美術館 Musée National des Beaux-Arts de l'Occident	日本 東京都台東区
フィルミニの文化の家 Maison de la Culture de Firminy	フランス オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏

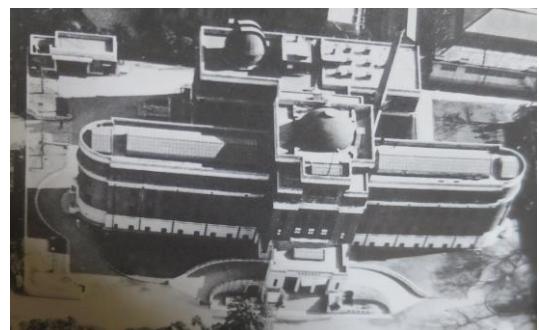
④国立科学博物館（旧東京博物館）

所在地：台東区上野公園 7-20

建築年：1871年 設計：芦原義信

上から見ると飛行機型になっている建物。

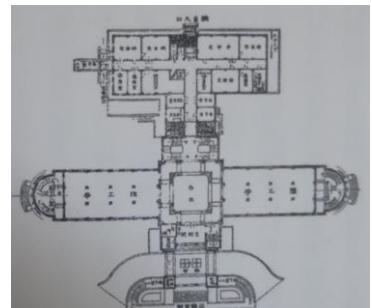
ドーム部分のステンドグラスは伊藤忠太の作品で
三階階段部分のグラスモザイクは三崎彌三郎の作品。



ステンドグラス



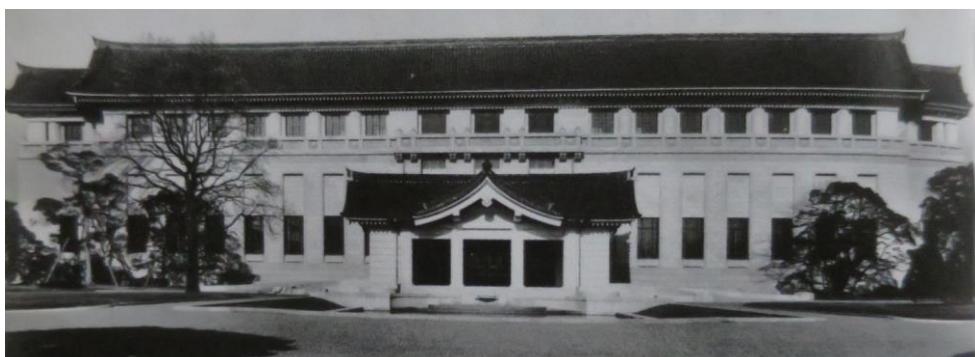
グラスモザイク



⑤東京国立博物館（旧東京帝室博物館）

所在地：台東区上野公園 13-9 建築年：1872年 設計：渡辺仁

コンペではあったが建築に関わる委員会の主査であった伊藤忠太の意向などで「建築様式ハ内容ト調和ヲ保ツノ必要アルヲ以ッテ日本趣味ヲ基調トスル東洋式トスルコト」と決められる。



(法隆寺宝物館：谷口吉生、東洋館：谷口吉郎、表慶館：片山東熊、黒田記念館：岡田信一郎)

<参考文献>

- | | |
|---|-----------|
| 世界遺産 ル・コルビュジエ作品群 西洋美術館を含む 17 作品登録までの軌跡 山名善之 | 博物館建築研究会編 |
| 昭和初期の博物館建築 東京博物館と東京帝室博物館 | |
| モダニズム建築紀行 日本の戦前期・戦後 1940～50年代の建築 松隈洋 | |
| Casa BRUTUS 特別編集 建築家ル・コルビュジエの教科書 | マガジンハウス |
| 国立西洋美術館公式ガイドブック | 国立西洋美術館 |

